

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名	新 2020 農畜水産物レガシー活用推進事業費
------------	--------------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農産物流通課販売対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2855)

E-mail: c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,836 千円 (前年度予算額: 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,836	0	0	0	0	0	0	0	10,836
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

2020 東京オリ・パラ大会を契機として、首都圏での県産農畜水産物のPR、利用拡大を推進してきた。取り組みの成果(レガシー)として、大使館、首都圏のレストラン等のシェフ、ケータリング事業者とのつながりが構築された。

一方、新型コロナの影響で、同大会は緊急事態宣言のもと無観客開催となったため、当初見込んでいたインバウンド客等の外国人へのPRは限定的だった。

(2) 事業内容

レガシーを活用し、国内外へ県産食材をPRする。特に、輸出促進と在日外国人の県産食材の消費拡大(以下、「小さな輸出」という)との両輪で、県産農畜水産物の利用を促進。

1) 世界へ向けた情報発信(「小さな輸出」の推進)

- ① 大使館公邸料理人等外国人シェフによる県産食材を活用したメニュー開発
 - ・料理人等に岐阜を招聘し、外国人目線で魅力のある食材候補選定
 - ・選定食材による外国人のし好に合ったメニュー開発・大使館等での提供
- ② シェフ等を対象とした料理普及講習会
 - ・①の開発メニューを、外国人の食通が通うレストランのシェフに紹介
- ③ 国際的な食に関する大規模商談会への岐阜県ブースの出展

- ・大都市圏で販売意欲のある県内事業者の公募・選定
 - ・岐阜県ブースとして一体的に出店し、来場者に県産食材をPR
- 2) 県産食材のケータリング向け供給の拡大
- ・GAP等県産食材を使用したケータリングメニューの開発
 - ・開発メニューのイベントや企業等へのプロモーション

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10。ただし、上記(2)の1)③の出展料の一部は出展者が負担。

(4) 類似事業の有無

有

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	53	プロポーザル評価委員報償費
旅費	416	業務旅費、費用弁償
需用費	0	
役務費	0	
委託料	10,367	食材選定、メニュー開発、料理講習会の開催、商談会出展等
工事請負費	0	
補助金	0	
その他	0	
合計	10,836	

決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定（知事査定後）」
の公開の際に記載します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画 (3) ぎふ農畜水産物のブランド展開

②大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化

(2) 国・他県の状況

国：農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略を策定。2030年5兆円目標。

他県：43道府県で首都圏を中心とした農産物ブランド化、販路拡大を実施。

(3) 後年度の財政負担

県産食材のイメージの定着化・成果を確認するため、継続的な支援が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

大都市圏及び在日外国人に利用される県産食材が増加することで、県産食材の認知度が向上し、さらなる販路拡大につながる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

県産食材の利用店舗等が、令和7年度までに、現在よりも増加する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						%
① 大都市圏における 飛騨牛取扱店の認 定数（店舗）	0	0	30	50	80	% 0
② 飛騨牛の輸出量 (t)	51.7				100	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

--

(次年度の方向性)

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	